



平成31年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年1月10日

上場会社名 株式会社 岡山製紙 上場取引所 東
 コード番号 3892 URL <http://www.okavamaseishi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津川 孝太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 妻鹿 徹 TEL 086-262-1101
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日 配当支払開始予定日 平成31年2月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第2四半期の業績（平成30年6月1日～平成30年11月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第2四半期	5,211	15.8	528	—	570	—	394	—
30年5月期第2四半期	4,502	3.4	△156	—	△119	—	△86	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第2四半期	79.86	—
30年5月期第2四半期	△17.66	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年5月期第2四半期	12,785	8,550	66.9
30年5月期	12,101	7,999	66.1

(参考) 自己資本 31年5月期第2四半期 8,550百万円 30年5月期 7,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00
31年5月期	—	6.00	—	—	—
31年5月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成31年5月期の業績予想（平成30年6月1日～平成31年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	13.6	555	—	600	661.5	420	855.4	85.23

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年5月期2Q	5,500,000株	30年5月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	31年5月期2Q	550,870株	30年5月期	565,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年5月期2Q	4,938,773株	30年5月期2Q	4,921,873株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第2四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における経営成績については、インターネット通信販売など電子商取引の普及や好景気を受けた活発な荷動きにより、当社の主要製品である段ボール原紙(中芯原紙)の販売は堅調で、中国向け輸出の増加により原料古紙価格が高騰したものの、製品価格改定が浸透したこと等から増収増益となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,211百万円(前年同四半期比15.8%増)、営業利益は528百万円(前年同四半期は営業損失156百万円)、経常利益は570百万円(前年同四半期は経常損失119百万円)、四半期純利益は394百万円(前年同四半期は四半期純損失86百万円)となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

○板紙事業

当事業関連では、販売数量が前年同四半期比2.5%増加し、製品価格改定も浸透したため、売上高は4,512百万円(前年同四半期比16.0%増)、セグメント利益は531百万円(前年同四半期はセグメント損失141百万円)となりました。

○美粧段ボール事業

当事業関連では、主力の通信機器関連品が順調に推移し、売上高は699百万円(前年同四半期比14.2%増)、セグメント損失は2百万円(前年同四半期はセグメント損失15百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は12,785百万円となり、前事業年度末に比べ684百万円増加しました。内訳は、流動資産が519百万円の増加、固定資産が164百万円の増加であります。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金387百万円の増加であります。また、固定資産増加の主な要因は、投資有価証券255百万円の増加であります。

負債は4,234百万円となり、前事業年度末に比べ132百万円増加しました。内訳は、流動負債が30百万円の増加、固定負債が102百万円の増加であります。

流動負債増加の主な要因は、支払手形及び買掛金81百万円の増加であります。また、固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債117百万円の増加であります。

純資産は8,550百万円となり、前事業年度末に比べ551百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金364百万円の増加であります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の66.1%から66.9%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前事業年度との比較・分析を行っております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、板紙製品価格改定の状況および原料古紙価格が引き続き著しい高値で推移することが見込まれる状況について変化はありませんので、平成31年1月4日に公表した業績予想を変更していません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,944,628	3,332,239
受取手形及び売掛金	3,670,327	3,827,981
商品及び製品	338,871	396,931
仕掛品	16,600	19,744
原材料及び貯蔵品	514,749	395,104
その他	22,420	55,533
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	7,505,597	8,025,535
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	456,571	441,096
構築物(純額)	103,310	99,949
機械及び装置(純額)	1,066,004	983,038
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	13,715	12,227
土地	194,549	194,549
リース資産(純額)	32,588	40,772
建設仮勘定	215	5,790
有形固定資産合計	1,866,953	1,777,423
無形固定資産		
	8,043	6,932
投資その他の資産		
投資有価証券	2,708,585	2,963,987
出資金	9,793	9,793
その他	2,055	2,055
投資その他の資産合計	2,720,434	2,975,836
固定資産合計	4,595,431	4,760,192
資産合計	12,101,029	12,785,727
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,158,070	2,239,815
未払金	292,958	294,495
未払費用	604,812	491,235
未払法人税等	96,307	145,010
その他	86,891	99,454
流動負債合計	3,239,040	3,270,010
固定負債		
繰延税金負債	363,540	481,277
退職給付引当金	424,582	402,314
その他	74,691	81,244
固定負債合計	862,814	964,836
負債合計	4,101,854	4,234,846

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金	738,312	744,487
利益剰余金	4,989,449	5,354,271
自己株式	△213,251	△207,782
株主資本合計	6,335,580	6,712,046
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,663,594	1,838,834
評価・換算差額等合計	1,663,594	1,838,834
純資産合計	7,999,174	8,550,880
負債純資産合計	12,101,029	12,785,727

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)
売上高	4,502,369	5,211,856
売上原価	3,963,082	3,971,602
売上総利益	539,286	1,240,253
販売費及び一般管理費	695,831	711,743
営業利益又は営業損失(△)	△156,544	528,510
営業外収益		
受取配当金	36,650	41,093
その他	1,963	2,494
営業外収益合計	38,614	43,587
営業外費用		
売上割引	1,082	1,266
その他	4	1
営業外費用合計	1,086	1,267
経常利益又は経常損失(△)	△119,016	570,830
特別利益		
投資有価証券売却益	569	—
特別利益合計	569	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△118,447	570,830
法人税、住民税及び事業税	1,968	135,422
法人税等調整額	△33,510	40,977
法人税等合計	△31,541	176,400
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△86,905	394,430

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。